

事務事業名	27663 橋梁整備事業													
担当組織	都市整備部					道路河川課					担当	道路改良担当		
組織コード	R2	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	08	02	03	01	01	記入日	令和 2年 6月17日
	R1	20	09	00		R1	01	08	02	03	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									○ 対象		
分野	03	道路									● 対象外		
施策	53	安全な橋梁の整備											
事業期間	平成20年度～令和2年度												
根拠法令 通達等	道路法 道路構造令 道路橋示方書 埼玉県福祉のまちづくり条例				関連計画 施政方針	戸田市第4次総合振興計画 戸田市都市マスタープラン 戸田市環境基本計画							
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの												
対象	徒歩、自転車、自動車等で橋梁を利用する通行者及び沿道利用者												
事業目的	河川によって分断されている地域を結ぶために、パイプの役目を果たす橋梁を整備することにより、地域間交流の促進、通勤・通学時の利便性の向上、災害時の交通連絡網（緊急輸送路）として、橋梁利用者の安全性、快適性の確保を図る。												
事業内容	既存橋梁の補修、ユニバーサルデザインへの対応、道路橋定期点検												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
	事業費		53,121	53,509	96,054	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	5,062	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	25,000	0	0	0	
		一般財源	53,121	23,447	96,054	0	0	
	人件費		6,094.72	6,094.72	0	0	0	
	投入 人員	常勤職員	0.89人	0.89人	0人	0人	0人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		59,216	59,604	96,054	0	0		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動 ①	橋梁補修実施数	橋	補修実施数				
					6	5	5	
	活動 ②							
					6	5	-	
成果 ①	橋梁補修実施率	%	補修実施数÷要補修橋梁 数(40橋)					
				25	40	50		
成果 ②								
				30	42	-		
目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 「戸田市長寿命化修繕計画」に基づき予防保全的な補修を実施し、適切な維持管理を行い、活動・成果ともに目標を達成した。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 橋梁の健全化を図るため、戸田市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修を実施している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 本業務は、県の積算基準や単価に基づき、積算し、入札により受注者を決定している。また、予防保全型の修繕により、予算の平準化を図っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 計画的に補修を進めるとともに定期点検を実施し、計画の見直しを行っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 橋梁は市内全域に存在し、市民に日常的に利用されており、受益・負担は適正である。

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし。
見直しの効果	特になし。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input checked="" type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 本市が管理する橋梁は、高度経済成長期に建設された橋梁が多く、竣工後30年を経過する橋梁が約7割を占めており、経年変化により損傷・劣化している箇所が随所に見受けられる状況となっている。そのため、今後、一斉に架け替え等の大規模な補修が必要となることがないように予防保全型の補修により長寿命化を図っていく。橋梁は市民の日常生活を支えるだけでなく、災害発生時やその後の復旧作業における重要な交通連絡網であり、適切に維持管理することが重要であるため、事業の統合後も本事業の内容を継続する必要がある。
今後の取組方針	「戸田市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、補修設計、補修工事を実施していくとともに、都市景観や利用者配慮した整備を進めていく。また、定期的な点検を実施することで、当該計画の更新を図り、計画的かつコスト縮減に向けた補修を実施する。 なお、令和3年度から「24042 道路管理業務」に統合する予定である。

事務事業名	21226 道路橋りょう総務事務費													
担当組織	都市整備部					道路河川課					担当	道路管理・維持担当		
組織コード	R2	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	08	02	01	01	01	記入日	令和 2年 6月17日
	R1	20	09	00		R1	01	08	02	01	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	○ 対象 ● 対象外
分野	03 道路	
施策	53 安全な橋梁の整備	
事業期間	平成17年度～令和5年度	
根拠法令 通達等	関連計画 施政方針	
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象		
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）	
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費	675	1,574	1,369	5,931	5,931	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	1,574	0	0	
	一般財源	675	0	1,369	5,931	5,931
人件費	342.4	342.4	1,301.12	1,301.12	1,301.12	
投入人員	常勤職員	0.05人	0.05人	0.19人	0.19人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	1,017	1,916	2,670	7,232	7,232	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由> 橋梁事務事業全般に亘る庶務的事務であり、事務事業評価にそぐわないため。					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input checked="" type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 事業全般を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続する必要がある。
今後の取組方針	事業全般を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続する。 なお、令和3年度から本事業に「20806土木積算システム事業」、「7154街路事務費」を統合する予定である。